

第5回 南第一小学校地区新たな学校づくり基本計画検討会 議事要旨

開催日時	2022年10月24日(月) 14:00~15:23	
開催場所	町田市立南第一小学校 3階 家庭科室(ウェブ会議併用)	
出席者 (敬称略)	委員	永田委員、大久保委員、大原委員、村松委員、細野委員、橋本委員、◎安東委員、○秋場委員(◎会長 ○副会長)
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター、児童青少年課 (委託業者)株式会社共同設計
傍聴者	1名	

議事内容(敬称略)

1 第4回検討会の振り返りについて

新たな学校推進課 (資料1説明)

2 新たな学校に引き継ぎたいもの・ことについて

新たな学校推進課 (資料2説明)

会長 No.15の創立120周年PTA記念作品レリーフについて、保存方法はどうか。

委員 デジタル保存の後、破棄ということで確認を取った。

会長 No.26の写真・資料については、デジタル保存の後、破棄を考えているが、学芸員と再度相談してから事務局に連絡する。

3 建物配置案について

教育センター (資料3-1説明)

委員 サポートルームは校舎の中の特別支援学級のエリアに配置するのか。

教育センター 特別支援学級は、子どもが在籍して日常的にそこで生活をする。サポートルームの子どもは、通常の学級に在籍をしていて、支援が必要なときに取り出し指導をする。そのため、同じ部屋というわけにはいかず、サポートルームと特別支援学級でそれぞれ専用の部屋を分けて設置する。

委員 特別支援学級のエリアにサポートルームができると解釈していいか。

教育センター 今後検討していく。

委員 現在、様々な用途に部屋が転換されて子どもたちが活動する部屋が減ってきているのを心配していた。特別支援に関わる部屋は求めるなど、子どもたちが日常の活動をできるように、通常の学級のスペースをある程度確保してほしい。

施設課長 サポートルームの位置については、特別支援学級の近くがいいのか、通常級のそばにあったほうがいいのか、いろいろ考え方があ。施設課と教育センターで、子どもたちに支障がないよう今後検討していく。

会長 サポートルーム専用の部屋は、配置されるということでいいか。

- 施設課長 サポートルームは、各学校に必ず配置している。しかし、利用する児童数等が毎年変わるため、余裕を持った配置をする。また、毎日ずっと利用者がいるわけではないため、多目的室等とのタイムシェアも視野に入れて、子どもたちの必要な空間は確保していく。
- 児童青少年課委員 (資料3-2説明)
2025年から3年間の仮校舎に移転している間の学童保育クラブの運営について、課題や問題はあるか。
- 児童青少年課 学童保育クラブも一緒に仮校舎に移ることになる。それによって通学路が変わる部分は今後の課題になる。引き続き、安全安心な登降所を確保できるようにしていきたい。
- 委員 中学校の敷地を借りて学童保育クラブを継続していくということか。中学校は、放課後に部活動で運動場や体育館等を使う。中学生と、学童とまちともの小学生が一緒になるとかなり密度が高くなる。そこの見通しはどうか。
- 施設課長 南中学校に仮校舎を建て、その中に学童保育クラブで必要な面積、保育室のスペース等を確保する。校庭については、部活で使うエリアとそうではないエリアを分け、小学生だけが利用できるスペースを確保し、中休みや放課後の学童やまちともについてもそこの利用を考えている。また、規模は小さくなるが、体育館も整備し、様々な活動ができるようしたいと考えている。
- 会長 小学校が校庭として使えるのは、現在の中学校の駐車場エリアのことか。
- 施設課長 そのとおり。
- 会長 先週、中学校の管理職と小学校の管理職とで打合せを行った。中学校側も、学童やまちともなど、学校の使い方が違う部分については不安を持っている。今後も打合せをする予定だが、事務局からも中学校に適宜情報提供をしてほしい。
- 委託業者 (資料3-3説明)
- 新たな学校推進課委員 (資料3-4説明)
六角校舎の継承はどのぐらい可能か。
- 委託業者 六角校舎に対する意見は多くいただいているため、何らかの形にしたいと思っている。建物の構造的に六角形を継承はしないが、機能的に困らない範囲で、例えば、地域開放エリア等の部屋の形を六角形にするなど、部分的に継承していきたいと考えている。
- 会長 A-1案、A-2案ともに、中庭辺り部屋が六角形になっている。こういった残し方になるのか。
- 委託業者 議論のうえで、位置については今後適切な配置を検討し、部分的に活かしていきたいと考えている。
- 会長 正門を出てすぐ左手の植栽がある三角形の部分も小学校の敷地に含まれる。あの部分は新たな学校になった際にどうなるのか。
- 施設課長 歩道としての機能や、通学時の児童出入口等、安全も考慮して今後検討していく。
- 会長 L G B T 対応については、何か考えがあるか。

- 施設課長 特に、トイレ。廊下からトイレに入るのに、男女どちらに入ったか分からないようなつくりにする等、配慮したものを設置したいと考えている。来年度以降の設計の中で本格的に中身を詰めていく。
- 会長 大人用の更衣室等も同様に来年度以降の設計で詰めていくのか。
- 施設課長 そのとおり。

4 通学の負担軽減について

新たな学校推進課 (資料4-1説明)

- 会長 荷物の軽減については、1人1台配付されているタブレット端末が一番重たく、大きな問題になっている。南第一小学校ではタブレットを持ち帰るときには、持ち帰らなくてもよい教科書等の教材は置いていくという対応をしている。今までのように、全部ランドセルに入れて持ち帰るのではなく、状況に応じて臨機応変にしている。持ち帰らない教科書等は、各教室のロッカーの上に1人1個ずつ設置したボックスに置いて帰るようにしている。教科書に限らず、絵の具セットや習字セット、裁縫セット、鍵盤ハーモニカ等かさばる教材を学校に置いておくのも、場所がないため非常に厳しい環境になってきている。学校の中をうまく整理整頓しながら、基本的には学校に置いておき、大きな物を常に持ち歩くことがないよう工夫している。

5 需要調査アンケートの結果について

新たな学校推進課 (資料5説明)

6 新たな学校づくり基本計画検討会報告書の内容確認について

新たな学校推進課 (資料6説明)

委員

仮校舎について

運動会や入学式、卒業式等のイベントを仮校舎で行う子どもたちや保護者への配慮をしてほしいという意見が出た。また、小学生と中学生が同じエリアの中でスムーズに生活ができるように検討してほしい、小中が連携し、一貫的な教育を行う等、仮校舎でなくてはできないことができるという意見が出た。

また、仮校舎の施設配置については、教員の声が反映できるような場を設けると同時に、新校舎より仮校舎の生活のほうが先なので学校側への適切かつ早めの情報提供が必要との要望があった。

通学について

通学路が変わるため、交通量や不審者など、安全に通学するための対策は引き続き検討が必要という意見が出た。

教育環境について

新しい建物ができるので、その中身である教育環境を充実させるためにも、教員一人一人が意識を高めて考えていくことが必要という意見が出た。また、地域の方も使えるスペースや子どもたちが普段の生活で使うスペースなど多目的に使えるよい環境のものができるとよい、何より子どもたちが安全で楽しく快適に過ごせるような学校づくりができればいい、という意見が出た。

7 次回検討会について

新たな学校推進課 2022年12月19日（月）14時～南第一小学校を予定

8 閉会

会長 （閉会の挨拶）